

大阪豊中市の國有地拂ひ下げに端を發しける「森友學園」問題は、賣却時に判明の土壤汚染に絡む「瑕疵擔保」を巡り、總理夫人の關與を問うて新聞、電視連日大々的に報じ、今や日本最重要問題の一つの若し。

土壤汚染の問題は福島原發事故に掛る殘留放射能對策として莫大の國家豫算を始め、例の豊洲にても賣主東京ガスは法令に基く處理に加へ、七十億圓を掛けて汚染除去を行ひ、賣却後の瑕疵擔保責任免除を買主東京都と契約、然るを爾後の「盛り土」など環境對策に八百億圓の巨費を要せる等、一般に賣主、買主雙方に過大の負擔を強ふ。されば嚴密なる査定を條件に、國又は地方公共團體側の負擔大なる傾向あるは或る意味當然なるべし。

森友學園は當該の土地を九億圓にて購入、但し土壤汚染對策費八億圓を差引き、一億圓にて取得すと云々。世人齊しく不當とす。然れども土壤對策を實施するは同學園なれば、計算は變らざるを、意圖的に一億圓にて購入、土地對策は國の費用にて行ひたるが如くに言立つるは經理計算不得意（値引と土壤改良費を二重計上）の國民を騙す手立てなり。

更に總理夫人の「政略的危險」への無警戒は、宛ら勝れたる首領狼、警戒停止の足跡に一頭の雌狼足跡一步先んずるあるを、仕掛くる罠に雌狼は捕はれ、遂に自らも罠にかゝり、群は亡び、囚れの餌を拒みて餓死に至れるシートン動物記を聯想せしむ。

かくて野黨と大衆報道なりふり構はぬ「安倍憎し」の振袖火事となり、ま、森友學園については、法令に基づく適正な手続きといつてきかなかつた、不當な國有地格安販賣の嘘がバレてきてゐる。安倍さんの留學&ゴルフ友達の、加計學園・新設學部の怪しい話も出て来た。共謀罪も、政府が目標としてゐた十日の閣議決定を斷念したしな。いい感じで弱つてきたうゝ。（室井佑月・週刊朝日三月二十三日）

と早くも勝利宣言の出來する始末なり。

然れど我懼るらくは別の側面なり。同學園幼兒教育の特色とて、幼稚園にて教育敕語を暗唱せしめ、更には「安倍總理がんばれ」と合唱すと云々。教育理念として言はば、教育敕語の評価見直しあり得べきも、安倍總理云々は明らかに異質にして、同學園最初の設立小學校名に當初「安倍晉三記念」を冠せむとするなど、眞の傳統復歸に非ざるを暗示す。

昭和初期「日本浪漫派」の運動あり、日本への回歸を唱ふ。然るに西洋思想全盛の當時、批判多く、伸び悩みの時期を過ぐす。然るを昭和十二年支那事變の始り頃より贊同者増ゆ。其の多くは保田與重郎らが主張せる日本の歴史と文藝に根ざしたるものに非ずして、時局に便乗せる舊左翼の日本主義者多く、遂に日本浪漫派の意圖を挫折、埋没せしむ。果してこの後國破るゝや、偽裝日本主義者ら逸早く自由主義的左翼の言論に立返り、日本浪漫派を糾弾するに至る。

今之を想起するに、正統派文人贊同寡きを意に介せず、只管正論を展開し續け來たり、最近漸く世論に影響を與へ始めたる折、大衆報道不毛の利權絡みの事案に乗じ、奇貨居くべしとて、草莽の正論を封じ、教育理念の自由をも奪はむとするの潮流起るを憂ふ。

文中敬稱略 引用口語文の表記は地の文に統一 (平成二十九年三月二十七日受附)